



第三者郵送調査における独立性・透明性の確保について (利益相反ポリシー)

1. 概要

一般社団法人放射線治療品質保証研究開発応用機構（以下 RAQDA という。）が実施する第三者郵送調査は、放射線治療における線量および幾何学精度の外部検証を目的とした品質保証（Quality Assurance, QA）活動の一環として実施されています。本事業においては、評価結果の客観性および第三者性の確保が極めて重要であり、利益相反（Conflict Of Interest, COI）の適切な管理と運用の独立性確保を基本方針としています。

2. COI および運用の独立性について

RAQDA が実施する第三者郵送調査においては、COI の観点から、運用の透明性および独立性の確保を重視しています。

本事業では、受付機能、測定・物流機能、解析機能、ならびに関連技術の提供主体を分離し、特定の企業または関係者が解析結果に影響を及ぼすことができない構造としています。

また、解析手法および評価基準は事前に定義されており、同一条件下で同一結果が得られる再現性を担保した運用を行っています。

なお、本制度は特定の団体・企業に依存するものではなく、学会等により定義される評価基準を満たす主体が参入可能な開かれた枠組みとして設計されるべきものと考えています。

RAQDA としては、これらの原則に基づき、透明性および第三者性の確保に努めています。

3. 運用体制の実際（独立性確保の具体的取り組み）

本事業における独立性および第三者性を担保するため、以下のような運用体制を採用しています。

- ・受付および契約、請求等の業務は窓口機関が担当し、解析業務とは分離されています
- ・測定資材の提供および回収・輸送は、解析部門とは独立したフローで管理されています
- ・解析業務は RAQDA 内で標準化された手順書に基づき実施され、外部企業は関与しません
- ・関連技術の提供企業は、測定資材の仕様提供に限定され、評価・判定には関与しません



RAQDA

一般社団法人放射線治療品質保証研究開発応用機構
〒277-0882 千葉県柏市柏の葉6-5-1 東葛テクノプラザ307号室
Email: office@raqda.org
Website: <http://www.raqda.org/>

また、解析手法および評価基準は事前に定義されており、同一条件下で同一結果が得られる再現性を担保しています。

さらに、利益相反に関係する者は、評価基準の策定および認定に関わる意思決定プロセスには関与しない運用としています。

4. 評価手法および客観性の根拠

本事業における評価基準は、既報の多施設共同研究に基づき設定されています。Tachibana H, et al. Multi-Institutional Study of End-to-End Dose Delivery Quality Assurance Testing for Image-Guided Brachytherapy Using a Gel Dosimeter. Brachytherapy. 2022. PMID: 35902335

これにより、評価基準は特定の個人または組織の恣意的判断に依存するものではなく、外部妥当性を有する形で定義されています。

5. 今後について

本内容は、学会等における議論および制度設計の進展に応じて、必要に応じて更新されます。

2026年4月1日

一般社団法人放射線治療品質保証研究開発応用機構

